

2026年度 埼玉医科大学短期大学
看護学科 学校推薦型選抜
小論文

問題用紙 1枚

答案用紙 1枚

無断転載・複製を禁ず

次の文章を読み、内容を 150 字以内に要約しなさい。また、この文章に対するあなたの意見を 300 字以内で述べなさい。

いくら知識を詰め込んでも、現実の諸問題に取り組むことができないのでは困る。これからはさまざまな課題を解決できるように思考力を高めることが大切だ。そのためにも知識偏重の教育から脱却すべきである。そのような論調が、各種メディアによって世の中に拡散され、知識を吸収することを軽視する風潮がある。脱・知識偏重教育の重要性が叫ばれるようになって久しいが、それによって思考力が磨かれるようになっただろうか。実際は、指示待ち人間が増えたり、承認欲求に振り回されて SNS で目立ちたがりの投稿をして批判にさらされる人間が増えるなど、思考停止社会に向かっていくのかのような徴候さえみられる。

それには、知識詰め込みとは逆の知識不足が深く関係しているように思われてならない。インターネットを通して、さまざまな情報に触れることができる情報過多な社会だからこそ、情報を精査し、取捨選択する必要がある、そのために考える力がこれまで以上に必要となる。

ものごとをじっくり考えるには、自分なりの視点をもつ必要がある。視点がなければ、情報に躍らされるばかりで、情報を評価したり、消化したりすることができない。ただし、自分の視点に凝り固まって、違う視点から検討することができないのも困るので、絶えず新たな情報に心を開きつつ、自分の視点も更新していく柔軟性が求められる。自分の視点をもつためにも、知識や教養の吸収は必要不可欠である。それにもかかわらず、知識は人工知能に任せればいいし、それを利用すればいいのだから、人間は考える力をつけることが大事だと言われたりする。だが、知識なしでは自分なりの視点ももてないし、しっかり考えることなどできない。

知識偏重との批判が出た当時は、受験で重箱の隅をつつくような問題が出たりするため、その対策として細かな知識の丸暗記を強いるような教育が行われているのがまずいといったニュアンスが強かったと思う。それが今では、知識詰め込みへの批判が行きすぎたのか、知識のあまりに乏しい中高生や大学生が巷に溢れているように思われる。

ここで今一度、知識と思考の関係をきちんと押さえておく必要がある。知識と思考を対立関係のようにみなす議論もあるが、知識が思考の邪魔になるというのは、まったく無思慮な誤解にすぎない。知識受容型の教育から主体的に学ぶ教育に転換すべきだというのはよいとしても、それは知識を吸収する姿勢を受け身でなく能動的にすべきだという意味に受け止めるべきだろう。与えられた知識を丸暗記するようなことはやめて、その意味をしっかりと理解し、頭のなかを体系的に整理しながら知識を吸収していくのが望ましい。

知識を吸収することは、思考力を高めるにも必要なものである。知識が乏しいほど思考力が高まるなどといったおかしい幻想は捨てるべきだろう。私たちは、ともすると安易な方に流されやすい。知識を軽視する風潮があるせいで、知識など必要ないと開き直って知識・教養の吸収をサボることができる。これでは思考力を高めることができない。

幅広い教養を身につけることで、何らかの問題・課題に直面したときに、頭のなかの多くの引き出しから、関係がありそうな知識をいくつか取り出し、さまざまな視点から検討し、思考を深めることができる。

(榎本博明「思考停止という病理^{やまい}」)

もはや『お任せ』の姿勢は通用しない」より。一部改変)

無断転載・複製を禁ず